



三木高大 自治会新聞

平成 28 年 2 月号 (No. 119)

発行 三木市高齢者大学学生自治会
発行責任者 自治会会長 立石 勲
編集者 自治会新聞編集委員会
発行日 平成 28 年 2 月 9 日

<http://koureisya-daigaku.cccp.jp>

教養講座だより

「ふるさとに生きる PART II」

講師 ラジオパーソナリティ 谷 五郎 様

この度は昨年4月に続き「AM 神戸」でおなじみの谷五郎様による2度目の講座です。

今回は田舎暮らしの四方山話や自身の体験や取材から得た事例を楽しい話術で紹介され聞き入った90分でした。

体験からは、宍粟で古民家を借り、三太郎大根を栽培したことや千種川でのチチコ釣りを通し、地元の人々とのふれあいや、高砂の休耕田で栽培されているレンコンを収穫したことなど、地域の人々との繋がりを大切にしている事を話された。

取材では、徳島県海部町の江戸時代から続く自由な気風の相互扶助組織「朋輩(ほうばい)組」の独自の活動やふるさと創生1億円事業で町民を英国にホームステイさせたり、人口1万人の町に12の美術館や博物館を設立し、年間110万人の観光客を集める長野県小布施町の事例を紹介された。

最後に若さの維持には子供の様に根拠のない自信をもっていろいろな事に挑戦しよう。その為には安全基地としての円満な家庭が絶対条件である、その秘策として「全日本亭主関白協会」会長の言葉「夫婦ケンカでは、嫁に勝たない、勝てない、勝ちたくない」、「嫁にはありがとう、ゴメンナサイ、愛していると言いましょ」を紹介され爆笑のうちに終了となりました。

3年4班 松田 昭男



専門講座だより

情報学科

今年の情報学科の受講生は、募集15名に対し、1年生5名、2年生7名の計12名である。

以前、この学科は人気が高く希望者が多くて受講するのに制限があった。しかし最近ではパソコンも普及し、入学前にすでにマスターしている方も多いのか？またスマートフォンの普及によりパソコン人気が落ちてきているのか？減少傾向である。

しかし、文書作成や表計算においては、非常に便利なツールである。講師の藤田清行先生はパソコン歴が長く、講師歴18年のプロである。マスクも話し方もソフトな方で、受講生が少ないということもあって、目がよく行き届き、全員の理解度を確認めながら次へ進むというパソコン初心者にとっては、とてもありがたい講義である。先生曰く、「今年の学生は熱心に聴いている」との評価、聞き上手は上達の秘訣だと言う。

最初は、文字入力もままならない状態でスタートしたが、今では画像や、イラストを文書の中に自在に入れられるようになり、個性的な年賀状も作れるようになった。パソコンには多くの機能があり、一つ一つスキルが身についていく事は実に楽しいものである。

1年4班 谷川 一男



学年通信

最後の三学期「想うこと」

長いようで短かった高大生活、もう卒業を迎える時期になってきました。何だか入学がつい先日のように感じられます。いままでいろいろとやってきましたが、これでよかったのだろうか、いやこれでよかったのだと、納得させている自分がいます。



友達と雑談をする中で卒業後の進路についてよく話します。院に進むか、他の学校に行くか、卒業して元の生活に戻るか中々結論は出ません。人の意見によって自分もそうしようかと、迷いだしたらきりがありません。迷い悩むことしきり、考えも2転3転します。もちろんしっかり選択する人もいますが、自分は迷える羊です。

毎年開催しています学年の新年会が1月14日にありました。食事をして親睦を深めます。今年は細川の「悠庵」で行いました。参加は48人、欠席3人でした。最後なので出席率が一番良かった。岩波副会長の挨拶にはじまり、いろいろと話が弾みました。いままではあまりうち解けなくて壁があった人とも話がはずみました。でもそれぞれの思いは複雑かもしれません、やはり卒業という言葉が頭に浮かんできます。

一次会が終わって二次会は希望者でカラオケにいきました。25人の参加、これも最多の人数でした。皆さん自慢の喉を披露していました。2時間あまり楽しみました。

先のことは分かりませんが、残り少ない学生生活を大切にしていきたいと思う今日この頃です。

4年3班 近藤 恒男

人物紹介

窟屋の金水「由来記」を新調して寄贈

1年3班 高橋 富子 様

今回は、毎月第1木曜10時10分からFMみっかい「ニュース交差点」に出演されています1年3班の高橋富子さんを紹介します。

高橋さんは書を初めて20年余り、望月美佐書芸院の準師範8段の免状をお持ちです。数年前、志染の「窟屋の金水」で知られる石室を訪れた際、あづま屋に掲示してある「由来記」のことばに感動されました。しかし、年月を経て読みづらくなっていたので、「窟屋の金水」の由来を後世に伝える弾みになればと新しくヒノキの板に書き写し、地元老人会に寄贈されました。現在は54帖ある源氏物語を臨書されており15帖迄できているとか、全54帖完成させるのをライフワークとして取り組まれております。また、水墨画も三木素真会に所属し、多くの展示会で受賞されており、現在、兵庫県水墨画協会会員アジア水墨画文化交流会講師並びに彩華国際水墨画会の評議員として活躍されております。更には、「ふたたびの花」と命名した電子レンジで作る富子流プリザーブドフラワーの作者としても知られております



高橋さんの作品の一部を紹介したブログがありましたのでご覧ください。

<http://oniwabann.exblog.jp/19979250>



取材 1年1班 正井 一

ク ラ フ 紹 介

写真クラブ

デジタルカメラの時代になり、カメラが勝手にピント等を合わせてくれ、気軽に孫などの家族、旅先の記録、自然、思い出、人生の節目など写真を撮る機会は増えました。暗室で、フィルムを現像、印画紙に焼き付け、撮った写真をやっと見る事ができた時を思うと、今はシャッターを押すと瞬時にモニターで、確認できるように成っています。



光、人の動き・表情、天候（自然）の3要素に、時代を加えると、感動を伝える得る作品となり、コンテストの入選・入賞作品も望めます。テーマ（統一性）と期限を定めて個展を開くこともできます。

自治会行事、卒業旅行、大学祭、3月の謝恩会、自治会新聞の編集等に活かせ、まちづくりなど地域の活動にも貢献できる様になりました。

私にとっては、撮影のスキルがあがり、世の中への関心や人とのかわり方を変えてくれた（写真）クラブです。素晴らしい私達仲間の輪に加わってください。

毎月第2水曜日午後は研修、第3水曜日は撮影会です。

写真クラブ部長 4年2班 石原 修

大道芸クラブ

大道芸のクラブ活動は多岐にわたり充実しています。新しい適度な刺激となり最高のリフレッシュになります。

「アアアさて、アッさて、さては南京玉すだれ……」の軽快なリズムと独特の口上に併せて、竹のすだれを操り、釣り竿、橋、船等に変化させる当クラブ十八番の「玉すだれ」、皿を棒の先に乗せて回す「皿まわし」、銭の触れ合う音を利用したリズム楽器の「銭太鼓」などが基本の練習演目です。先輩、後輩一緒に楽しく練習を行っております。

練習は登校日の午後3時から5時まで研修室5にて短時間ながら励んでいます。

活動としてはみっきい夏祭り、三木金物祭りなどでのステージ出演、ボランティア活動としては市内の諸施設を数多く訪問させていただいております。レクリエーションとしても手軽に気軽に楽しむことが出来、心も体もリラックスです。ぜひ皆様も一緒にやりませんか？



大道芸クラブ部長 3年4班 谷口 恵美子

第24回大学祭のご案内

大学祭は一般公開です。ご家族、ご友人をお誘いあわせのうえお気軽にお越しください。

日程

2月20日(土)	13:00~15:20	展示部門のみ	午前準備終了後
2月21日(日)	9:40~10:00	式典体育館	一般来場者は2階研修室3で休息
	10:00~15:20	演技および展示部門	
	昼食	在校生	午前の部終了後に体育館にて昼食
		招待者/一般来場者	2階研修室3
一般来場者		事前に弁当注文、又は昼食を持参	

展示の部

演技の部

場所	展示	演目	時間
研修室1	写真	式典	9:40 ~ 10:00
研修室2	短歌 ゴルフ グラウンドゴルフ 囲碁ラージボール バドミントン ターゲットバードゴルフ クック 自治会喫茶室(21日のみ)	1 大道芸	10:05 ~ 10:25
		2 コーラス	10:25 ~ 11:00
		3 カラオケ(1)	11:00 ~ 11:30
		4 詩吟	11:30 ~ 11:55
1階 ロビー	書道 水墨画	5 太極拳	11:55 ~ 12:10
1階廊下	園芸	休憩 〔昼食〕	12:10 ~ 12:50
研修室4	パソコン 大学自治会広報 大学院 学友会 各学年	6 歌謡アカシア	12:50 ~ 13:35
研修室5	茶道(お茶席 21日のみ)	7 民謡踊り	13:35 ~ 13:55
木工室	匠(木工) 能面 手芸	8 カラオケ(2)	13:55 ~ 14:55
2階廊下	瑞穂交流キャンプ小学生作品	9 社交ダンス	14:55 ~ 15:15
		閉会式	15:20 ~

大学祭実行委員長 3年4班 徳田 均

平成28年度大学生募集

教務主任 井上 達夫

高齢者大学では、新年度入学生を募集しています。ご近所、お友達、お知り合いの方に大いにPRしていただき、お誘いくださるようお願いいたします。募集要項及び入学願書は、まなびの郷みずほ、市役所(4階)市民協働課、市民活動センター、市立公民館など市の施設に置いてあります。

◇入学資格 三木市内に住所を有する60歳以上の学習意欲のある方

◇募集定員 75名(先着順)

◇学習講座 教養課程及び専門課程(園芸、健康福祉、情報、古典、郷土史)

◇学費等 入学金12,000円、受講料10,000円/年間、自治会費3,500円/年間

◇願書受付 2月26日(金)迄、火~金曜日の9時~16時、郵送も可

◇問い合わせ 高齢者大学事務局(市立まなびの郷みずほ内 ☎88-2550)

◇詳しくは <http://koureisyadaigaku.cccp.jp>